

福音の拡散

シリーズ～福音の力～

2020/04/19

ルカによる福音書10章1～12節

その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。そして、彼らに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。行きなさい。わたしはあなたがたを遣わす。それは、狼の群れに小羊を送り込むようなものだ。財布も袋も履物も持って行くな。途中でだれにも挨拶をするな。どこかの家に入ったら、まず、『この家に平和があるように』と言いなさい。平和の子がそこにいるなら、あなたがたの願う平和はその人にとどまる。

もし、いなければ、その平和はあなたがたに戻ってくる。その家に泊まって、そこで出される物を食べ、また飲みなさい。働く者が報酬を受けるのは当然だからである。家から家へと渡り歩くな。どこかの町に入り、迎え入れられたら、出される物を食べ、その町の病人をいやし、また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。しかし、町に入っても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。言っておくが、かの日には、その町よりまだソドムの方が軽い罰で済む。」

ちょっとおさらい

- **受難と復活の預言**

- 「人の子は必ず多くの苦しみを受け、長老、祭司長、律法学者たちから排斥されて殺され、三日目に復活することになっている。」9:22

- **変貌山**

- 受難に向かうための特別な祈り・モーセとエリヤが現れ「人類の出エジプト」?について話す

- **エルサレムに向かって進むが…**

- 「村人(サマリア)はイエスを歓迎しなかった。イエスがエルサレムを目指して進んでおられたからである。」9:53

72人の派遣

- 12弟子とは別に72人を任命し遣わす
 - 「主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつものすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。」
 - イエス様御自身が行きたいと願われた場所
- 「72人」
 - 荒れ野でモーセを助けるために任命された70人
 - イスラエル最高議会(サンヒドリン)の議員数72
- 「2人ずつ」
 - 助け合うため?
 - 「二人または三人の証人の口によって確定される」

諸注意

- 危険を覚悟していきなさい
 - 「狼の群れに小羊を送り込むようなものだ」
- 手ぶらで行きなさい
 - 「財布も袋も履物も持って行くな」
- 寄り道せずに行きなさい
 - 「途中でだれにも挨拶をするな」
- 一箇所にとどまりなさい
 - 「『この家に平和があるように』と言いなさい」
 - 「そこで出される物を食べ、また飲みなさい」
 - 「家から家へと渡り歩くな」

福音を伝える

- 町に留まってすべきこと
 - 「その町の病人をいやし、また、『神の国はあなたがたに近づいた』と言いなさい。」
- もし受け入れなければ
 - 『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。』>責任はこの町の人にある
- 収穫はたくさんある
 - 「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主になさい。」

イエス様の代わりに遣わされる

- 私たちは遣わされている
 - 偶然何のいともなくそこにいるのではない!
 - イエス様が「行くつもり」だった所
 - イエス様は十字架の上でも福音を伝えられた
- 責任は受け取る側にある
 - 拒否されることを恐れて黙ってはいけけない
 - 「恐れるな。語り続けよ。黙っているな。」使徒18:9
- 生き様で伝える
 - 神様だけを信頼し、福音にかけている姿が人々の心を打つ

福音を伝染させる!

- 『産み増える』という神の法則

- アダムとエバからすべての人間が生まれた
- アブラハムを選んでイスラエル民族を作られた
- イエス様によってもたらされた永遠の命は弟子が弟子を生むことによって広がり神の家族となる

- ウィルスと呼ばれたパウロ

- 「実は、この男は**疫病のような人間**で、世界中のユダヤ人の間に騒動を引き起こしている者、『ナザレ人の分派』の主謀者であります。」使徒24:5
- 唯一絶対の希望を広めなければならない!

涙と共に種を蒔く人は
喜びの歌と共に刈り入れる。
種の袋を背負い、
泣きながら出て行った人は
束ねた穂を背負い
喜びの歌をうたいながら帰ってくる。

詩編126:5-6